

○ 切り株からもパワーが染み出ています、松ヤニとともに

以前にもお知らせしましたが、園内で最古にして最大の松の木が昨年12月の強風で倒れてしまいました。「移住の松」として初代松久市治がこの地に暮らし始めた頃に植えたもの、と言い伝えられており、近年は十勝随一のパワースポットとして国内外から多くの方が木肌に触れるためだけに松久園を訪れていた。．．．ほど



撮影の際に手持ちぶさたと感じたら、竹ぼうきお貸しします。

ではありません。とはいえ多くのお客様に親しんでいただいたのは間違いなく、倒れた幹を処分するのが忍びなくて枝を落としてそのまま残すことにしました。加えて直径2m近くはある根元近くの切り株もなかなか迫力があり、切り株に腰かけて巨大な幹とともに写真に収められるようにしました。背景には松久園の建物も入り、構図としては悪くないと思いますが、唯一の難点は切り株から染み出す松ヤニ。うっかり洋服についてしまうと、そう簡単には落ちません。板で覆うことも考えましたが、せっかくの年輪が見えなくなるのも寂しくて今のところそのままになっています。切り株に腰かける際はくれぐれもご注意ください。

○ 老舗料亭、秘伝のレシピの裏にあるのは...

当園の看板メニュー「から揚げ」のタレを始め、あらいの酢みそや寿司のあわせ酢など、創業間もないころから伝わるレシピが数多くあります。一方でちょっとした付け合わせや新たなメニューの開発など、決まったレシピのない料理を作る機会も少なからずあります。以前であれば料理関係の本を参考にすることが多かったのですが、最近のご多分にもれずインターネットのお世話になっています。数多くある料理関係サイトの中で個人的に気に入っているのが「白ごはん.com」というサイトです。基本的な和食をきちんと作る、というわりと地味な作りなのですが「料理の中でなぜその工程が必要なのか」「調味料を加減するとどうなるか」といったことを丁寧に解説しているので、素材や量がレシピ通りでないときも応用しやすいのです。興味のある方はご覧いただくと、ご家庭でも松久園の、あの味が。



主催者の富田ただすけ氏、自ら撮影するという写真もおもしろそうです。

○ つい、クセで引き受けてしまいました

小学校を卒業した末娘、当然ですが四月から中学生になっております。新入学に関わらず新学期になる



小学校PTAの退任の記念品ハンコ付きペン。我が家のハンコとして活躍してます。

と必ずやってくるのがPTAの役員選び。自営業者という間違いなく狙われるのが相場です。私も長女が小学校に入学した翌年には知り合いの塗装屋さんが店にやってきて、満面の笑みで「頼むわ」と。以来小学校で5年、中学校で2年ほど勤めさせてもらいました。あまり長いことやっていると、何もないほうが落ち着かなくなってきました。ここ2年は離れていたところ、先日知り合いから「役員やってもらえませんか」との連絡が。内心「はい喜んで！」というところ「いやあ、どうしてもほかに見つからないようでしたら、やれないこともないですけどね。」なんてもったいぶったりして。